

名 称	平成 26 年度 第 1 回 ほどがや市民活動センター評議会 議事録	
日 時	平成 26 年 12 月 10 日(水) 10:00～12:00	
場 所	ほどがや市民活動センター (アワーズ) ミーティングスペース	
出席者	評議会委員	浅井 経子 委員 (八洲学園大学 生涯学習学部 生涯学習学科 教授) 小倉 敬子 委員 (公財)かわさき市民活動センター 理事長) 有元 典史 委員 (国立大学法人横浜国立大学) 三田 竜平 委員 (一般社団法人横浜青年会議所) 山崎 滋 委員 (保土ヶ谷区連合町内会長連絡会)
	保土ヶ谷区役所	地域振興課長 学校支援・連携担当課長 山本 秩朗 地域振興課 生涯学習支援係長 大屋 将佐 同 生涯学習支援係 佐藤 保 同 生涯学習支援係 川満 由佳 同 生涯学習支援係 平山 啓子
	協働運営会議	代表 小林 由美子
	管理運営業務 受託者 アクティオ(株)	アクティオ株式会社 東日本事業部 富崎 通 アクティオ株式会社 東日本事業部 藤原 さなえ ほどがや市民活動センター センター長 岩堀 祐一 同 スタッフ 望月 智子 同 スタッフ 中村 美奈 同 スタッフ 正法 みどり
欠 席 者	竹迫 和代 委員 (参画はぐくみ工房 代表 兼ファンリテーター)	

議 題	(1)平成 26 年度ほどがや市民活動センターの運営及び業務 (2)ほどがや市民活動センター協働運営会議から (3)評価シート記入 (4)その他 意見交換
資 料	1.平成 26 年度 ほどがや市民活動センター 評議会委員・名簿 2.平成 26 年度上期 ほどがや市民活動センター 事業報告書一覧 3.平成 26 年度上期 施設利用状況 4.平成 26 年度上期 事業報告書 5.平成 26 年度上期 街の学習応援隊 登録状況・活動状況 6.ほどがや市民活動センター 協働運営会議 資料 7.平成 26 年度上期 ほどがや市民活動センター 活動報告 評価シート 8. ほどがや市民活動センター評議会会則

\*会議成立 委員 6 名中、5 名が出席。

ほどがや市民活動センター評議会会則第 8 条第 2 項に基づき、定数の過半数を充たし、本会議は成立した。

あわせて、H26 年度第 1 回評議会において、議長は小倉委員、副議長は浅井委員が選出されていることを確認した。

議題(1)平成26年度 ほどがや市民活動センターの運営及び業務

- (1)-1 「平成26年度上期 ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「場の提供」、「情報の提供」、「相談・コーディネート」について報告
- \* 場の提供⇒各団体が定期的な活動を行っている為、部屋利用、機材利用、印刷機など一定のリピーターを得る事ができ、H24年、H25年、H26年と利用者数も上向きに推移している。H26年4月～9月、利用者数8,727名、稼働率52.8%。このまま稼働率を増やしていくのが課題だが、自治会、町内会、マンションの管理組合なども利用できるようにすることも検討中。
  - \* 情報の提供⇒アワーズの広報媒体(メルマガ、ホームページ、情報紙)を提供することにより、より広く利用者の拡大に結びついている。情報を提供する団体や施設との連携も図れ、登録団体の情報を提供することで、団体の活動支援につなげることができている。ホームページのアクセス件数も、H24年、H25年、H26年と、HPアクセス数が右肩上がりに上昇している。(HPアクセス件数、H26年4月～9月47,058件 月平均7,843件/昨年同期44,272件 月平均7,378件)、情報誌も3ヶ月ごとに発行している。近隣各施設、相鉄線の最寄の沿線4駅に配架している。発行部数は毎回2,100部、メールマガジン発信数が318件。メルマガに関しては、もう少し伸ばしたいと考える。民間のスペースの中で配架ができないかと考えている。現在は民間の個人店などには配架している。広報よこはま保土ヶ谷区版に情報を掲載する。(原稿〆切が早いのは、承知しているが出来る限り掲載すべき)
  - \* 相談・コーディネート⇒H26年4月～9月、相談件数177件/昨年同期187件。引き続き相談は安定している。無いようで多いのは、講座やイベントを探しているという問合せが多い。次いで団体の人材を探している相談が多い。相談の数を上げるには、施設の認知度を上げていくのが大切だと考える。
- 【委員からの質問とアワーズからの回答】**
- (質問)情報の拡散については、SNSやフェイスブックなどを用いると、情報の拡散を望むのであればお勧めする。
- (回答)検討する。
- (質問)登録団体を対象という考え方を改め、対象を個人も利用できるよう、居場所のない高齢者に居場所を提供してはどうか？また、利用者の少ない平日の昼間の時間帯に定期的に高齢者対象のカフェを試してみればどうか？
- (回答)来月から地域振興課が主催で、アワーズでコミュニティーカフェの講座を連続で実験的に行う予定である。
- 【委員からの意見】**
- ・フェイスブックについては、イベントがある時だけの利用などで始めてみてもいいのでは。
  - ・高齢者の行き場がないから場の提供をするというのではなく、その方々を活動対象として、企画を立ててはどうか。
- (1)-2 「平成26年度上期 ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「新たな担い手の視野を広げる」「サークル・団体の活動・事業・運営を支援する」を報告
- \* ボランティア入門講座⇒ボランティア交流会を区社協、子育て支援拠点こっころと実施。昨年度、ボランティア入門講座に参加した方を対象に、交流の機会を設け、昨年参加した方々の感想・意見などを聞いた。下期、ボランティア入門講座(全4回講座)を実施予定。
  - \* シニアライフ講座⇒下期、シニアライフ講座(5回連続講座)を実施した。定年退職後の方々を対象に地域デビューや今後の生涯学習に繋がるきっかけ作りを目標に開催している講座。下期に報告する。

\* IT 相談会⇒アワーズ登録団体の、パソコンほどがや宿との共催で、毎週金曜に開催している。4 月～9 月、24 回開催、参加人数 245 名。数回利用される方もおり、リピーターの方も増えており、他の団体の支援にも繋がっている。

\* 団体力スキルアップ講座⇒下期、2 月 7 日、3 月 7 日に開催予定。

**【委員からの質問とアワーズからの回答】**

(質問)IT 相談会はどのくらい増えているのか。

(回答)昨年は 248 件で、ほぼ同じだが、常に賑わっており、毎週参加者も多く、個人個人に対応している関係や、スペースや時間的な問題を含め、物理的に見て人数(件数)はほぼ限界であると考える。

(質問)スマホ講座はやらないのか。企業に無料で講師を頼め、有効な講座となると思うが。

(回答)スマホの講座は行っていないが、iPad 講座は開催した。大きな画面での操作なので、高齢者に大変人気がある。スマホは会社ごとに機種も違うので、公平性として 1 社だけの開催は難しい。

(質問)シニアライフは、前回の参加者に広報は出したのか。

(回答)出した。

(質問)リピーターと、全体の人数は増えたのか。

(回答)リピーターは 2 名、参加者は 10 名で、前回の倍となった。

(質問)ボランティアは大学生も視野に入っているのか。イベント時に若手のボランティアもアワーズで準備するのもいいのでは。

(回答)基本的に高齢者の方々、もしくは子育ての手が離れた人などが主だが、まなぶん祭りには、国大生のボランティアに協力してもらっている。

(1)-3

「平成 26 年度上期ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「交流の機会を創出する」「街の学習応援隊」事業を報告

\*利用者交流会⇒第1回利用者交流会では、7月 26 日に「ほどじゃが食べて活動自慢」というイベントを開催、保土ヶ谷の地場農家のジャガイモでポテトサラダを作り、食べながら互いの活動を話した。第2回、第3回は、下期開催。

\*協働運営会議の事務補助⇒下期、2月スキルアップ講座開催。また、生涯学習フォーラムに参加。

\*生涯学習フォーラムへの参画⇒フォーラムや実行委員会、役員会を実施。検討内容について参加。下期、生涯学習フォーラム実施。

\*街の学習応援隊⇒現在 106 件の登録がある。ジャンルの音楽・舞踊がパフォーマンスとして、美術・手工芸・文学・歴史が、講座、講師として活動している。近隣以外に在住の講師も多く活躍している。依頼のニーズに合わせて、スタッフがコーディネートしている。また、講座終了後、双方に活動報告書を提出していただいている。現在までトラブルは特に無い。

**【委員からの質問とアワーズからの回答】**

(質問)街の学習応援隊の情報はアワーズ以外どこで得られるのか。

(回答)アワーズ HP や、街の学習応援隊ガイドの冊子を年 2 回作成し、各施設に送付しているので、各施設の職員の方々へのハンドブックとして利用してもらっている。

(質問)アワーズを利用している方々が繋がって、勉強会として応援隊を講師として利用することはあるのか。

(回答)ある。

(質問)応援隊があるという情報をフェイスブックで発信すると良いのではないのか。

(回答)検討する。

(1)-4

(質問) 応援隊と利用者の事後報告書はあるのか。

(回答) ある。

(質問) 応援隊でのトラブルはないのか。

(回答) トラブルは特に無い。演者が張り切り、演技の時間が伸びたといった程度。

(質問) 他の施設などでは登録したものの、機能していないボランティアが多いのが現状だが、実際に応援隊が活躍する場はあるのか。

(回答) 下期の報告になるが、先月、一般の人への PR も含めて「街の学習応援隊フェスタ」を開催した。団体同士の交流と、発表の場、PR の機会を作っている。

(質問) 演技者がオーバーする時間については事前に注意を促して防ぐことも必要ではないか。

(回答) 事前に注意はしている。応援隊に関しては、年に 1 度、応援隊の研修会を開催しており、今季はボイストレーナーを招き、人前で話す方法や、発声の仕方などの講習を予定している。また、去年はマナー講座を開催し、依頼者側、応援隊側の双方が気持ちよく利用できるよう努めている。

「平成 26 年度上期ほどがや市民活動センター事業報告書一覧」に基づき、「区民利用施設との連携」、「広報・周知」、「評価・検証」、「研修」を報告

**\*各施設との連携事業**⇒今井地区センター・夏に今井こども夏祭りに、アワーズ相談コーナーを設置。応援隊(おもしろ科学探検工房、キャンドル作り、消しゴムハンコ作り)と共に参加し、アワーズ周知に努めた。

また、社協とこっころと連携して、去年のボランティアの参加者交流会を開催した。くぬぎ台小学校コミュニティーハウスにて、アワーズの PR と共に、「懐かしのヨコハマ」という 16 mm フィルム上映会を実施。

**\*ものしりサプリメント講座**⇒上期、くぬぎ台小学校コミュニティーハウスにて 16 ミリフィルム上映会を実施。

「はじめての iPad 講座」を実施。「海と船の雑学講座」を実施。

\*情報紙・メルマガ発行⇒情報紙、年 4 回発行、メルマガ、毎月 15 日発行。

\*ホームページの管理・情報発信⇒情報発信のツールとして有効に活用できるよう管理している。

\*研修⇒市(教育委員会・市民局)主催の研修に参加。職員の全体定例会で報告発表、情報を共有し、スキルアップに努めている。また自社での研修も行っている。個人情報保護の研修を行ったばかり。

#### 【委員からの質問とアワーズからの回答】

(質問) 講座に参加する方々は、どこで情報を得るのか。

(回答) アワーズ館内のチラシ、近隣の施設などに配架しているチラシ、HP、情報誌、区報、駅配架のチラシ他。

(質問) 初めての参加者人はいるのか。

(回答) 半数以上が初めて、中には講座マニアもいる。

(質問) 近隣に配架している情報紙はどれだけ掃けているか。

(回答) 3 カ月配架で(20~30 部)、次の配架時にはなくなっている。市民活動に関心のない人は手に取らないことも多いと思う。

(質問) 文化活動を盛んにやっている人の集まる音楽スタジオなどに配架してはどうか。

(回答) 保土ケ谷にはそういったスタジオが無いが、他の施設の配架を検討する。

(質問) 「まなぶん祭り」のチラシを自治会で見たのはここ最近だと思うが、周知にはいいと思う。

(回答) この 2 年ほどで、「まなぶん祭り」チラシの配架場所を拡大した。今後も広報を広げていきたい。

(質問) 「海と船の雑学」はいい企画だと思う。1 回でも OK にしたらもっといいのでは。

	<p>(回答)1回でもOKと裏面に記載されている。</p> <p>(質問)情報発信の仕方を工夫した方が確実に情報は拡散する。HP はあくまでも情報発信のツールではないので、SNS や FB の活用をされてみてはどうか。</p> <p>(回答)検討する。</p> <p><b>【委員からの意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・街の学習応援隊はいいと思う。今まで特にトラブルも無く、活用されているのも素晴らしい。</li> <li>・応援隊側の演技の時間が伸びる場合の予防策として、事前に注意をして防ぐことも必要。</li> <li>・資料の概要の内容が分かりにくい。重複している部分もあるので整理して作り直したほうがよい。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 概要と内容が似通っているのをひとつにしてみたい。 (内容には実施したプログラム名を記入する。概要にはねらいと目的を書いて、内容は書かない)</li> <li>2. 成果と課題はそれ以外の事は書かない。 (成果及び課題の個所に下期開催予定が入っているが、これは内容の一番下に入れる。)</li> <li>3. 成果と課題だけ右端に出ると見やすくなる</li> </ol>
<p>議題(2)ほどがや市民活動センター 協働運営会議から</p>	
	<p>「ほどがや市民活動センター協働運営会議 平成 25 年度上期 活動報告」に基づき、協働運営会議代表より報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会 6/7 開催。</li> <li>・まなぶん祭りに参加 二日の締めには協働運営会議の上半期事業の発表を行い、その後音楽を合わせたの PR を実施。</li> <li>・利用者交流会 第 1 弾 7/26「ほどじゃが食べて活動自慢 第 2 弾」参加者 44 名、第 2 弾 10/21「秋の横浜山手散策」参加者 35～6 名。第 3 弾、第 12 回「しゃべろうかい」～16 mmフィルムでみる東京オリンピックを迎える神奈川～を 1 月 17 日開催予定</li> <li>・団体カススキルアップ講座 第 1 回「以外と簡単！インターネットで活動 PR」2 月 7 日開催予定、第 2 回「インターネット被害未然防止講座」3 月 7 日開催予定。</li> <li>・下期全大会 3 月 25 日開催予定。</li> </ul> <p><b>【委員からの意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度の予算はもう決まっているのか。</li> <li>・岡部常務にはその旨(10 周年記念企画予算)伝えてある。</li> </ul>
<p>課題(3)評価シート記入</p>	
<p>議題(4)その他 意見交換(全般的な質問、意見交換は各事業の説明の中で行った)</p> <p><b>【委員からの意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告書一覧について 概要欄と内容欄は、重なる事項ではないか。→「成果及び課題」欄には、開催予定事項は掲載しない。</li> </ul>	

以上